

東日本大震災被災児童自立支援

X'mas Charity Concert for "Support Our Kids"

with John Ken Nuzzo and TOKYO FM Boys Choir

2016年12月12日。

オペラ歌手 ジョン・健・ヌッツォとTOKYO FM少年合唱団が、
東北の復興と安寧、東北の子ども達の幸せを願いお届けする
X'mas Charity Concert。

Christmas Songを中心とした珠玉の名曲に包まれ、
東北に、子ども達に、想いを寄せるひと時を。

2016 開場18:00 開演19:00 ※開場からホワイエにてサイレントオークションを実施
12/12月 TOKYO FMホール
(千代田区麹町1-7 FMセンター2F)

●半蔵門線「半蔵門駅」下車(1)(2)番出口より徒歩約3分
●有楽町線「麹町駅」下車(1)(2)番出口より徒歩約6分
※一般駐車場はございません。http://www.tfmhall.jp/access.html

■ 出演者

ジョン・健・ヌッツォ (テノール)

2000年に世界三大歌劇場の一つであるウィーン国立歌劇場でデビューし、オーストリア芸術新人大賞「エバーハルト・ヴェヒター・メダル」を受賞。フォルクスオーパー、ザルツブルグ音楽祭に出演した後、巨匠ジェームズ・レヴァインの招待によりメトロポリタン歌劇場にデビュー。その活動がTBS系TV番組「情熱大陸」にて放映され、一躍脚光を浴びる。NHK大河ドラマ「新選組」のテーマ曲を歌い、NHK「紅白歌合戦」に2度出場。ハウス食品「六甲のおいしい水」CM出演。天皇皇后両陛下とローマ法皇に歌声を披露した経験をもつほか、MLBやサッカーの国際試合での国歌斉唱もつとめた。これまでグルベロヴァ、ゲオルギュー、ブルゾン、ヌッチ、ケント・ナガノ、ボニンゴ等と共演。レヴァイン指揮/ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、デュトワ指揮/NHK交響楽団への客演等、国内外のオーケストラと共演。近年は、広上淳一指揮/札幌交響楽団、大友直人指揮/ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラへの客演、「サントリーホール・フェスティバル」、歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」、「リゴレット」、「ラ・ボエーム」や喜歌劇「メリー・ウィドウ」、「こうもり」等へ出演する一方、シューマン「詩人の恋」など歌曲にも取り組む。'16年は、三大テノールの一人ブラシド・ドミンゴと歌劇「真珠探り」のデュエットや世界的ホルン奏者のラデク・ハボラックとプリテン「セレナーデ」の共演に加え、ニューアルバム「イタリアン・アリア」を発売し全国10ヶ所のリサイタルツアーを実施。来年は、京都市交響楽団「バレンタイン・コンサート」とウィーン楽友協会「UTAU DAIKU」への再出演、NHKナゴヤニューイヤーコンサートへの出演に加え、和楽器とのコラボ、ベートーヴェン歌曲リサイタルなどにも取り組み、今後益々の活躍が期待される。
第9回日本声楽コンクール第1位、第13回出光音楽賞受賞、ロサンゼルス・アーティスト・オブ・ザ・イヤー、ロサンゼルスNATS声楽コンクール第1位。

公式サイト: <http://www.jkn-tenorissimo.com/>

ピアノ:高田 絢子

■ 曲目(予定)

クリスマス・ソングス・メドレー、誰も寝てはならぬ、彼を帰して、忘れな草、アヴェ・マリア

※曲目は変更になる場合がございます。

席種: 全席自由

会費: 4,500円

※本公演は、東日本大震災被災児童自立支援チャリティ企画として開催。本公演の収益は、全額、東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト「Support Our Kids」の活動に充当されます。また、ホワイエでは、Charity Auctionも実施致します(出品予定:Support Our Kidsを応援する著名人のサイン入りグッズなど)。

〈チケットの購入方法〉

●各種チケットは [ロケテ HMV](#) [チケットぴあ](#) ローソン店頭、ミニストップ店頭で好評発売中!

ローソンチケット電話予約センター (オペレーター受付/10:00~20:00) tel:0570-000-777 Lコード:32971

〈お問い合わせ〉

特定非営利活動法人 次代の創造工房

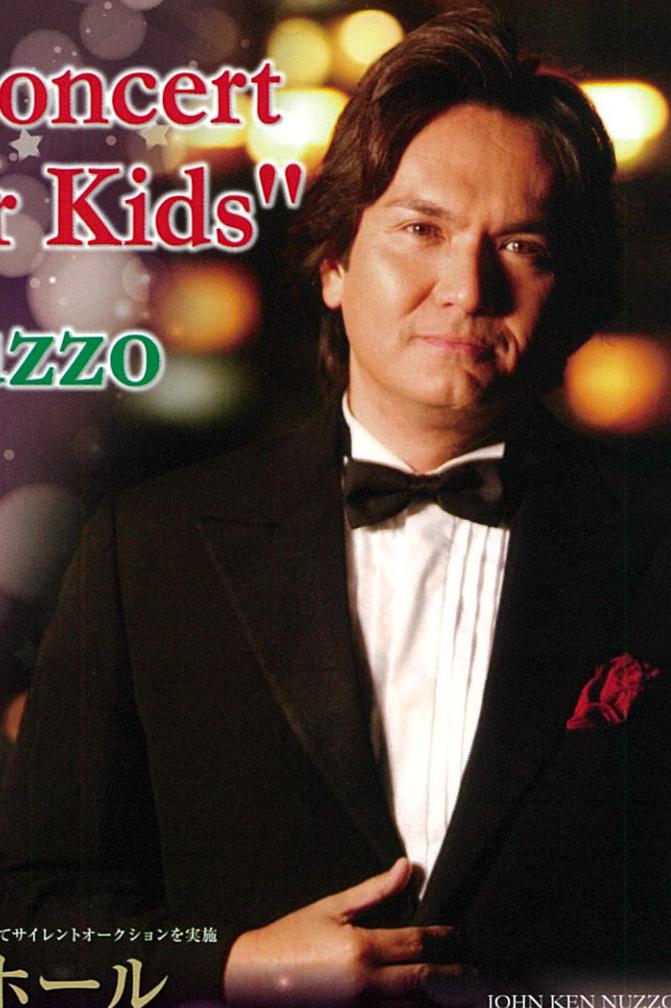
☎ 03-6272-6252

主催: Support Our Kids 実行委員会

協力: TOKYO FMグループ、GTFクリエイタートウキョウフェスティバル実行委員会、ヒーローズエデュテイメント株式会社

<http://support-our-kids.org> www.facebook.com/jidai.or.jp [@SOK_Japan](https://twitter.com/SOK_Japan)

Support Our Kids



JOHN KEN NUZZO

TOKYO FM 少年合唱団

1985年結成。ボーイソプラノの純粋な響きを追求し、小学生の男の子だけをメンバーとする世界でも希少な少年合唱団。

12月23日(金・祝) 帝国ホテルでクリスマスチャリティイベント出演。

12月24日、25日 TFMホールでクリスマスコンサート開催。

詳しくはオフィシャルサイト: <http://www.tfm.co.jp> をご参照ください。



指揮:佐藤 宏 ピアノ:小林 茉莉花

Support Our Kids

“東日本大震災被災児の自立支援”“復興のリーダーづくり”を目的に発足。主たる活動は、世界11カ国の大使館や外務省と連携し実施している「海外ホームステイを通じた被災児の自立心育成活動」。これまでに海外に渡った子ども達は342名を数える(2016年8月現在)。「世界」「歴史」「多くの人々の温もり」に触れ、帰国した子ども達は、「今度は自分達が誰かの為に」と自発的に、復興プロジェクト「HABATAKI」を始動。ひとりでも多くの子ども達が自らの手で明るい未来を切り拓いてゆけるよう、理解と支援の環を拡げながら震災から10年、2020年まで活動を継続する。

ホームステイプログラム 2015～2016活動報告

スイス・ポーランド



終戦70年を節目に、アウシュビッツ解放70年のポーランドと永世中立国スイスをめぐり、復興と平和について学ぶ。日本国大使館、国際赤十字・赤新月社連盟、アウシュビッツ強制収容所訪問。日本美術博物館を設立したアンジェイ・ワイダ監督と対面。現地の大学生、高校生たちと交流。(6名参加)

2015年
12月

アイルランド



外務大臣、ダブリン市長、日本国大使館、WorldRugby を表敬訪問し震災プレゼンテーションを実施。語学学校に通い、異文化交流を行う。アイルランド剣道連盟と交流会。トリニティ大学見学。サッカー、ゲーリックフットボール観戦。(9名参加)

オーストラリア



豪日交流基金の一部助成により実施。クィーンズランド州政府教育機関協力のもと、現地高校に通学。震災プレゼンテーションや日本文化を伝えた。現地小学校にも訪問。アボリジニダンス体験。ブリスベン市内、ローンパイン・コアラサンクチュアリ観光。(9名参加)

2016年
7月

ニュージーランド



オークランドとクライストチャーチに滞在。市長を表敬訪問し、震災プレゼンテーションを実施。SOK名誉会長イアン夫妻と仙台市から寄贈された電灯を見学。現地高校通学。Game of Englishラグビー体験。(10名+OBの引率アシスタント1名参加)

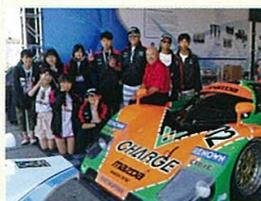
カナダ



現地日系人と交流し、苦しい環境でも夢をもって チャレンジするフロンティアスピリットを学ぶ。サマーキャンプに参加し、アクティビティを通じて現地の方々と交流。トロント市庁舎表敬訪問。ロータリークラブ交流。テーブルマナー教室。ナイアガラ観光。(8名参加)

8月

アメリカ



ロサンゼルス、モンレー、サンフランシスコに滞在。MAZDA社、寺田陽次郎さんの協力のもとレースを観戦。サーキット走行も体験。ドジャーススタジアムにて前田健太選手と交流。野球観戦。スタンフォード大学、NASA、Google見学。(10名参加)

参加生徒の声

福島県いわき市 中学2年 女子

受身の姿勢で参加してしまっただけのホームステイ、最初の三日から四日は泣きっぱなしでした。ステイ先に居場所を感じることができなかったのです。しかし、これは私が悪いわけではないと頑なに思っていました。窓を開けているのに何もしてこないほうが悪いと思っていたのです。自分の目的も、このプロジェクトの目的も、何も達成しておらず、何もできない申し訳なさで泣いていました。一週間が過ぎそうとき、「これじゃあだめだ!」とやっと思ひ、積極的に話しかけたり、リビングに居座ってみたり、仲良くなろうと自分から頑張ってみました。それからは、仲良くなれて、最後にはお互い泣くくらい別れが惜しくなっていました。最後までうまく何も伝えられなかったし、迷惑もたくさんかけて、恥ずかしいこともたくさんして、それでももっと一緒にいたかったなと思いました。

私はこのホームステイで本当の自立について考えました。私がこのホームステイで思った本当の自立とは、「与えられた状況下でいかにうまくやるか」ではなく、「与えられた状況をいかに自分で考え、動き、この状況を打開するか」です。このホームステイは私の自立に大きなチャンスを与えてくれました。無駄にしないよう、また私がホームステイするにあたって関わってくださったすべての方々への感謝を忘れず、精一杯頑張りたいと思います。



12か国目の支援国としてキューバ大使館が Support Our Kidsに参加!



12/11、友情の証として、キューバからレスリングと柔道のメダリストが来日。都内会場で、東北の子ども達を対象に夢のスポーツクリニックを開催します。

開催日時: 2016年12月11日(日) 9:00~13:00[予定] 場所: 日本大学三軒茶屋キャンパス

■講師: ロナルド・ベイティア監督(キューバ柔道女子代表前監督)
イダリス・オルティス選手(リオ五輪柔道女子78kg超級)
ミハイン・ロペス選手(リオ五輪男子レスリング グレコローマン130kg級)

北田 典子教授(全日本女子柔道元監督)
米田 真由美選手(視覚障がい女子柔道63kg級)